

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分
 【発行日】平成 19 年 2 月 1 日 (2007.2.1)

【公表番号】特表 2002-532867(P2002-532867A)
 【公表日】平成 14 年 10 月 2 日 (2002.10.2)
 【出願番号】特願 2000-589009(P2000-589009)
 【国際特許分類】

H 0 5 B 41/282 (2006.01)

H 0 5 B 41/24 (2006.01)

【F I】

H 0 5 B 41/29 C

H 0 5 B 41/24 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 12 月 1 日 (2006.12.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

点灯中に陰極フェーズにある電極を持つ高圧放電ランプを点灯する回路装置であって、
 - 供給電圧源に接続する入力端子と、
 - 前記高圧放電ランプを接続する出力端子と、
 - 前記入力端子に結合され、双極性の連続する期間を持つ交流ランプ電流を前記高圧放電ランプに供給する手段とを有し、該ランプ電流は期間毎に平均値 I_m を持つ回路装置であり、

前記ランプ電流が、各期間の開始において、陰極フェーズの電極に対する安定した拡散的アタックを許容するように、前記平均値 I_m に対して低いことを特徴とする回路装置。

【請求項 2】

期間毎に前記ランプ電流が平均値 I_m を有し、該期間の第 1 部分にわたって、より低い平均値 I_e を有し、該期間の第 2 部分にわたって、 I_m より大きい平均電流 I_2 を有することを特徴とする請求項 1 記載の回路装置。

【請求項 3】

前記期間は、継続時間 t_p を有し、該期間の前記第 1 部分は、 $0.05 \leq t_1 / t_p \leq 0.85$ の関係を満たす継続時間 t_1 を有することを特徴とする請求項 2 記載の回路装置。

【請求項 4】

$0.3 \leq I_e / I_m \leq 0.9$ であることを特徴とする請求項 2 又は 3 記載の回路装置。

【請求項 5】

前記期間の開始における電流が I_e よりも高いことを特徴とする請求項 2, 3 又は 4 記載の回路装置。

【請求項 6】

前記ランプ電流に、前記期間の終わりにおいて同一極性の、関係 $I_3 \geq 2 I_m$ を満たす値 I_3 を持つパルスが設けられることを特徴とする請求項 1 乃至 5 の何れか一項に記載の回路装置。